



【事業の分類】

関連するSDGsの目標

基本目標		重点課題プロジェクト			施策コード
4	健康で安心して暮らせるまちづくり				422
政策		その他の特色			コストの方向性
2	健康・医療の充実				コスト維持
施策		事業種	継・新	公共施設等総合管理計画	骨格・肉付け
2	地域と連携した健康づくりの推進	ハード	継続	○	

【事業の内容】

事業名	休日・夜間急患センター非常用自家発電設備改修事業				担当部課	健康福祉部 (総務部)	健康づくり課 (公共施設管理課)	
事業目的	休日・夜間急患センターに設置している非常用自家発電設備は、設置から既に25年が経過し、老朽化している。今後、安定稼働が困難になる可能性がある設備を改修することで、休日及び夜間の診療を行う急患センターを整備し、市民の急病患者の医療を確保する。				事業主体	糸島市		
事業内容	急患センターは、急病の患者を365日診療しており、停電時でも滞りなく診療機能を維持するために、必要な電気を確保できるよう、老朽化している非常用自家発電機の改修工事を行う。				実施方法	直営		
事業期間	令和4年度～令和5年度				進捗状況・現状	平成8年2月に竣工。 発電設備を構成する機器は、設置場所(屋上)の周囲の気温、湿度、ほこりなどの環境、運転時間、始動・停止回数、経年変化などの要因によって劣化が進んでいる。発電設備の部品においても、製造から25年が経っており、メーカーによる部品の供給が終了しており、保守部品の確保が困難な状態である。 【参考】 法定耐用年数15年(糸島市公共施設点検マニュアル) 耐用年数30年(エンジンは25年)(他自治体の評価マニュアルより)		
総事業費	19,030	千円	(うち市予算化分) 19,030	千円	会計種類	一般会計		
昨年度の実施計画に計上した総事業費	19,666	千円	19,666	千円	予算科目	款 4	項 1	目 3

【担当課による評価】

◆活動指標

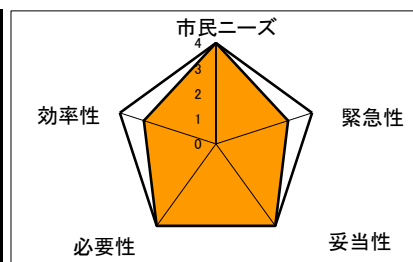
指標	現状値	当該年度目標値	最終目標値
非常用自家発電設備改修事業の実施	未実施	実施	実施

◆成果指標

指標	基準値 (R1)	当該年度目標値	目標値 (R7)
健康づくりの環境が充実していると思う市民の割合(市民満足度調査)	46.2%	47.7%	50%

◆事業の必要性など

事業の必要性	①非常に高い。必ず行うべきである。
行政関与の妥当性	①行政にしかできない事業である。
事業の効率性(費用対効果)	②費用はかかるが、それ以上の効果が期待できる。
緊急性	②今行わなければ、近い将来必ず市民生活に支障が出る。
市民ニーズ	①非常に高い



【事業費】

休日・夜間急患センター非常用自家発電設備改修事業

※二段書きのうち()は市の予算を通らない事業費、【】は繰越費、斜体はランニングコストを表す。

(単位:千円)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	1,100				1,100
	一般財源 (a)		17,930			17,930
事業費 (A)		1,100	17,930			19,030
主な事業費内訳		委託料	工事請負費			
従事職員数(人)		0.1	0.2		平均人件費	8,700
人件費 (B)		870	1,740		人件費割合 (%)	12.1
総コスト (A+B)		1,970	19,670		総コスト計	21,640
実質地方債負担	交付税措置額					-
	一般財源充当額 (b)					
	(a+b)					
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率等 (地方債は交付税措置率)	
国庫支出金						
県支出金						
地方債					(充当率 %)	
その他	ふるさと応援基金繰入金	糸島市ふるさと応援寄附条例				

年 度	積算基礎	合計
令和4年度	設計委託料 1,100千円 ※債務負担行為 17,930千円(令和5年度工事請負費)	1,100 千円
令和5年度	工事請負費 17,930千円	17,930 千円
令和6年度		千円

担当部長による 総合評価	非常用自家発電設備は停電時において、その機能を発揮するため、休日・夜間医療業務にとって極めて重要な設備である。市民の救急的な診療に支障が出ないよう、早急には実施しなければならない事業であるが、当初の計画時点では予測できなかった資材の調達の困難さ等から、スケジュールの見直しが必要になっている。実施計画を変更し、令和5年度末までの事業完了を目指し、実施したい考えである。
-----------------	--